

2025年度 第2回研究会 居場所をつくる

地域の日本語教室では、日本語学習の場としてだけではなく、学習者も支援者も共に学び、対話を通してお互いを理解する「居場所」としての役割を果たしています。今回の研究会では、この「居場所」をキーワードに、北陸の日本語教育や支援の場をフィールドとした調査と実践の報告をします。これらの報告をとおして、北陸地域の豊かな実践について知っていただくとともに、これからの日本語教育のあり方や役割について考える機会になればと考えています。テーマに興味のある方は、どなたでもご参加いただけます。

日時

2026年 2月22日(日) 14:00~16:30

開催方法

対面／オンライン(zoom)

会場(対面)

金沢大学角間キャンパス 人間社会第2講義棟 201講義室

プログラム

13:45 受付開始

14:00

開会

14:05~14:10

趣旨説明

市嶋 典子(金沢大学人間社会研究域国際学系 教授)

14:10~14:40

居場所としての日本語教室 -支援者と学習者への調査を通して-

藤井 真子(金沢大学 人間社会学域 国際学類 日本語教育コース 4年)

14:40~15:10

在日ブラジル人児童生徒の日本語教育における居場所の構築

DE AGUIAR AZEVEDO BRUNA(デ・アギアール・アゼヴェド・ブルーナ)

(金沢大学 人間社会環境研究科 人間社会環境学専攻 博士後期課程1年)

15:10~15:55

「ここにいていい」と思える場所づくり

清水ステファニーユキエ(NPO法人アレッセ高岡 事務局員)

青木 由香(NPO法人アレッセ高岡 理事長)

15:55~16:00

休憩

16:00~16:25

質疑応答

16:30

閉会

申し込みURL/QRコードから研究会のページを開き、
申し込みフォームへアクセスしてください。申し込み
×切

2/19(木)

URL: <https://jlt.w3.kanazawa-u.ac.jp/news023.html>**お問い合わせ**日本語教師養成・研修推進拠点整備事業(中部ブロック・金沢大学)
事務局 contact@jlt.w3.kanazawa-u.ac.jp